

## 画面デザイン費用見積もり参考資料

デザインテーマ

見た目の改善

業務用Windowsアプリケーション

2025年12月

ハーツテクノロジー株式会社

# この資料について

この資料は、画面デザインの費用感を説明するための事例紹介です。

事例テーマは「**コストを抑え、見た目だけのデザインで効果をあげる**」です。

なお、実際の画面デザイン実務は案件ごとに作業内容が大きく変動します。この資料の内容は「費用の目安」としてご活用ください。

# お客様の課題

- ・見た目が古臭いため、セールス担当者から「**お客様による印象が悪い**」という意見をもらっている。
- ・操作画面が複雑な印象で「**使いやすくして欲しい**」という要望が多い。
- ・**Windows11に対応**するため、内部処理は変更せずに画面の見た目を開発し直す必要が発生した。
- ・開発者だけだと、デザインを新しい雰囲気にはできないため、**画面デザインを外注**したい。
- ・開発予算はあまりないため、**デザイン外注コストは抑えたい**。

お客様のニーズ：

業務用のソフトウェアなので、派手にする必要はないですが、古臭い見た目を現在のWindowsに合わせて新しくするとともに使いやすい印象にして欲しい。



# 改修前の画面

OSCAAR入力データの作成 - example.inp

ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)

計算制御  
防護対策あり

大気拡散・沈着計算

被ばく線量計算

被ばく低減効果解析

健康影響推定

閉じる

被ばく低減係数 対策実施範囲・推移 食物摂取制限実施条件

警告時間: 2.00 (h)

防護対策: 屋内退避

☐ 実施しない

☒ 実施する

☒ 線量制限により実施  
0.050 (Sv)

放出点からの距離: 30.00 (km)

指示までの時間: 1.00 (h)

完了時間: 1.00 (h)

実施期間: 48.00 (h)

安定ヨウ素剤の投与

☐ 実施しない

☒ 実施する 介入レベル: 0.050 (Sv)

投与開始時間: 2.00 (h)

放出猶予時間  
1.00 h

放出継続時間  
2.00 h

警告 時間  
2.00 h

屋内退避		
指示までの時間	完了 時間	実施時間
1.00 h	1.00 h	48.00 h

安定ヨウ素剤の投与開始時間: 警告開始時間から 2.00 時間後

コンクリート 屋内退避		避難		移転
指示までの時間	完了 時間	実施 時間	完了 時間	実施 時間
1.00 h	1.00 h	48.00 h	1.00 h	168.00 h

安定ヨウ素剤の投与開始時間: 警告開始時間から 2.00 時間後

屋内退避

避難  
10.00 km

30.00 km

# デザイン後の画面

OSCAAR 入力データの作成 - examplainp

ファイル (F) ツール (T) ヘルプ (H)

閉じる

計算制御

防護対策あり

大気拡散・沈着計算

被ばく線量計算

被ばく低減効果解析

健康影響推定

被ばく低減係数

対策実施範囲・推移

食物摂取制限実施条件

警告時間2.00(h)

防護対策屋内退避

実施しない

実施する

線量制限により実施

0.050(Sv)

放出点からの距離30.00(km)

指示までの時間1.00(h)

完了時間1.00(h)

実施期間48.00(h)

安定ヨウ素剤の投与

実施しない

実施する

介入レベル0.050(Sv)

投与開始時間2.00(h)

放出猶予時間1.00h

放出継続時間2.00h

警告時間2.00h

屋内退避

指示までの時間1.00h

完了時間1.00h

実施時間48.00h

安定ヨウ素剤の投与開始時間：警告開始時間から 2.00 時間後

コンクリート屋内退避

避難

指示までの時間1.00h

完了時間1.00h

実施時間48.00h

完了時間1.00h

実施時間168.00h

移転

安定ヨウ素剤の投与開始時間：警告開始時間から 2.00 時間後

屋内退避

避難

10.00km

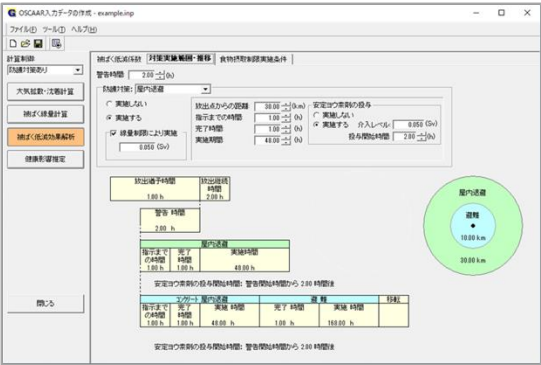
30.00km

4

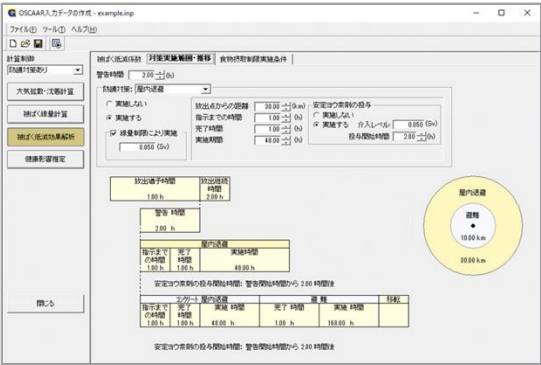
# デザイナーが指摘した問題点

- ・ ボタンや数値設定ボックスのサイズとパーツ間隔が小さいため、煩雑な印象を受ける。
- ・ 設定項目のグルーピング表現が複雑なため設定項目の関係性が理解しにくい。
- ・ カラーバリアフリーへの対応ができていない。

## カラーバリアフリー 対応説明



旧画面の一般的色覚



旧画面の第1色覚による見え方



新画面の一般的色覚



新画面の第1色覚による見え方

図の薄緑色とクリーム色と水色の3色に対する識別が困難になる配色が行われている。

色覚の違いで全体の印象が異ならないようにするとともに、図の3色に対する識別ができるように改善。

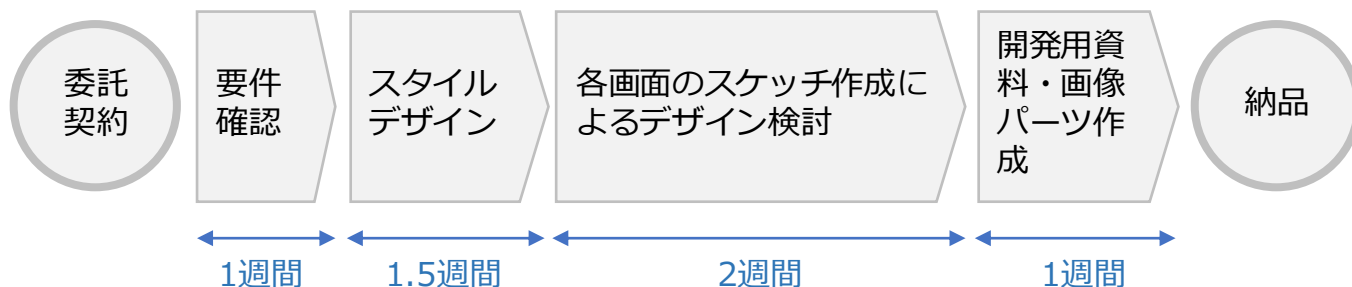
# 各種要件とプロセス

費用見積もりの前提要件は以下としました。最低限の費用で抑えるよう作業項目を絞り込んでいます。

基本要件	既存ソフトウェア画面に対して、画面遷移と画面内要素の変更は行わず、画面の見た目だけを新しいものにする。
デザイン範囲	基本画面系 <b>3画面</b> と設定ダイアログ <b>2種類</b>
開発向け資料	数値による各画面の詳細レイアウト指定資料は作成せず、共通要素のサイズやカラー指定を記載した資料(Powerpoint)とレイアウトがわかる画面スケッチ画像(Png)。
画像パーツ	画面内に配置するアイコンパーツ <b>8点程度</b>

以下はプロセスと日程の目安です。

途中、お客様側による持ち帰り社内検討期間を数日間含めています。



# デザインの参考見積もり

項目		金額	備考
要件確認・整理		60,000	WEB会議によるやりとりです。
スタイル提案		180,000	TOP画面とダイアログ1種類をセットにして3案を提出します。
画面スケッチ作成		240,000	基本系3画面とダイアログ2種類を対象とします。 修正・調整は最大2回とします。
デザイン指定資料作成		65,000	共通的な色やサイズを指定するだけで、画面ごとのレイアウトは指定しません。
アイコンパーツ制作		60,000	画面内ツールアイコンを.pngファイル形式で提出します。
	税別合計	<b>¥605,000</b>	
	税込合計	<b>¥665,500</b>	

※1 「スタイル提案」は画面の基調色、各パーツのサイズと配置、アイコンの雰囲気等による見た目の雰囲気をデザインします。